



おかで おさむ  
**岡出 修 さん**

岡出ブロック工業

昭和48年よりブロック積工に従事し、特にガラスブロックの施工については業界内において高く評価されている。軟弱地盤である泥炭地でのブロック塀の傾きや倒れを抑制するため、単管パイプを活用した地盤補強方法を考案し、品質の向上を実現した。また、苫小牧地区技能士協会理事を務め、同協会の行事に積極的に参加し、技能祭ではブロック・レンガ積み体験コーナーの講師を毎年務めるなど、業界の発展に寄与している。



いとう かずゆき  
**伊藤 和幸 さん**

伊藤板金

昭和57年より建築板金業務に従事し、特に屋根葺の技能については業界内において高く評価されている。防水テープを活用した屋根の防水性と耐風圧を高める施工方法の考案やどの勾配にも対応可能なベンチレーターを型を作成し、品質・生産性の向上と工期短縮を実現した。また、苫小牧地区建築板金技能士会会長を務め、後進育成のため若年技能者の育成に尽力している。



ふじた ようすけ  
**藤田 陽介 さん**

株クレタ

昭和49年より自動車整備工として従事し、常に最新の整備技術情報を基に新型自動車への整備技術対応などに積極的に取り組み、年々高度化する自動車メカニズムにも対応した整備技術に精通しており、業界の技術レベル向上に貢献している。また、自動車の検査や整備に係る勉強会や情報交換会などにも積極的に参加するなど、若手整備士のアドバイザーの存在として、後進の指導育成に貢献している。



さとう しゅうじ  
**佐藤 昭司 さん**

東栄塗装㈱

昭和49年より塗装工として従事し、現場では職長として指揮・監督を行い、施工改善に努めているほか、常に実践を通じ、若手と共に学ぶ姿勢で日々技能の修得・研鑽に努めている。また、実践を通じて、的確な状況判断・施工のできる優秀な人材を多数育てている。苫小牧塗装工業協同組合の活動として、市内小学校の遊具や苫小牧市立病院などの塗装を行う奉仕活動に率先して参加し、社会貢献に努めている。



おおさわ ゆうと  
**大澤 勇斗 さん**

㈱三共水道設備

胆振東部地震を経験し、「ライフラインの重要性」を実感し入社。現在は、幅広い業務をこなし、現場代理人として職務に従事。真面目な性格で仕事に対する目的意識が明確であることから、飲み込みも早く自ら進んで業務に励む姿に上司も一目を置く人物。川清掃のボランティアに会社を通じて参加するなど地域にも貢献している。



おouchi ともひろ  
**大内 友裕 さん**

医療法人社団玄洋会  
道央佐藤病院

認知症高齢者と多く関わる病棟での経験や学びを生かし介護福祉士の資格を取得し、後輩を指導する立場としても活躍している。上司からは、「介護福祉士としての役割をしっかりと果たしてくれているから、看護師が看護の仕事に専念することができる」と言わしめるほど信頼も厚く、今後はケアマネジャーの資格取得を視野に日々自己研鑽に努めている。



なかむら みゆ  
**中村 美優 さん**

トヨタ自動車北海道㈱

持ち前のリーダーシップを発揮し、QCサークル活動において、過去4度テーマリーダーを担当。社内大会で金賞を受賞し、令和5年、他業種が参加するQC全道大会に出場予定。「重量物を女性が担当することについての制限」において、部品を運ぶトレーを変える提案により、女性が勤める環境づくりに貢献し、同業他社など広域的な職場環境の改善に影響を与えた。



なかの えり  
**中野 絵理 さん**

社会福祉法人緑陽会  
特別養護老人ホーム  
緑樹園Ⅱ

実務経験を積み重ね、今年、同世代の同僚に先駆けて介護福祉士の資格を取得。日々変わる利用者の体調に応じたケアや専門的知識を生かした介護サービスの心掛け、他の職員の手本となっている。空いたシフトに自身が勤務をすると申し出たり、年齢が上の後輩へ指導するなど、年齢問わず尊敬される職員になることを目標に日々自己研鑽に努めている。



## 苫小牧市 技能功労者表彰

令和4年度の技能功労者表彰式が、  
11月8日に行われました。  
市内で技能職に従事し、  
その技術が最高水準にあると  
認められた8人の方が表彰されました

詳細 工業・雇用振興課 ☎(32)6432



## 苫小牧市 青少年表彰

令和4年度の青少年表彰が、11月21日に行われました。  
市内に住む、日頃の勤務態度や地域での活動が  
優秀で模範となる9人の方が表彰されました

詳細 青少年課 ☎(32)6759



タン・ミッシェル・  
**TAN MICHELLE**  
タンドゥゴン  
**TANDUGON さん**  
オーティス  
株OTis

ICT事業部のソフトウェア開発に従事し、新型コロナウイルスにより、経営が難しい飲食店や外食へ行きにくい家庭のために考えられた、テイクアウト代行システム(リアクター)の開発に参加。市主催の「日常日本語講座」や「避難所体験」、社内イベントにも積極的に参加し、コミュニケーションを取る姿は、他の外国人スタッフの模範となっている。